

## ー 医学系研究に関する情報及びご協力のお願ひ ー

当院では、以下の医学系研究を実施しております。この研究は、検案・解剖業務の過程で得られた情報をまとめることによって行います。この研究は、当院の倫理委員会の承認を得ており、文部科学省及び厚生労働省が策定した「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」を守り実施されます。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

## 〔研究課題名〕

遺伝性不整脈疾患症例における遺伝子解析

## 〔研究実施機関〕

東京都監察医務院、群馬大学大学院医学系研究科内科学講座循環器内科学、群馬大学医学部附属病院、群馬大学未来先端研究機構統合腫瘍学研究部門、前橋赤十字病院、群馬県立小児医療センター、公立藤岡総合病院、高崎総合医療センター、群馬大学大学院医学系研究科法医学講座

## 〔研究代表者〕

早川 輝

## 〔研究の目的・方法〕

本研究は、遺伝性不整脈・心筋症の患者さんや虚血性心疾患にともない致死性不整脈が発症した患者さんにおいて、不整脈をおこす原因となる遺伝子異常を同定し、さらに、不整脈がおこるメカニズムを解明することを目的としています。我々や他の研究者がこれらのデータを蓄積することにより、各々の患者さんにあった最適な治療、すなわち、「オーダーメイド」治療や、既知の治療法より有効な新たな治療法の開発につながる可能性があります。

東京都監察医務院で研究代表者及び研究分担者が担当した行政解剖に付された方から、個人を特定できる情報を削除し匿名化を行った後に保存し、解剖時に採取した血液を用いてゲノム DNA を抽出します。まず候補遺伝子をサンガー法で解析し、遺伝子変異が同定されたかた場合、次世代シーケンサーを用いて候補遺伝子の網羅的解析、さらに、エクソーム解析を行うことで全遺伝子を対象に遺伝子変異を解析します。

サンガー法での遺伝子解析は、群馬大学大学院医学系研究科内科学講座循環器内科学で行い、次世代シーケンサーを用いての遺伝子解析は、群馬大学未来先端研究機構統合腫瘍学研究部門で行います。同定された遺伝子変異が新規の場合、その機能異常を、培養細胞発現系を用い、細胞電気生理学的手法（パッチクランプ法）、分子生物的手法（ノーザンブロット法、免疫染色など）を駆使し解析する場合があります。上記実験は群馬大学大学院医学系研究科内科学講座循環器内科学で行います。

## 〔研究の対象者〕

東京都監察医務院において、令和 3(2021)年 4 月 1 日から令和 6(2024)年 3 月 31 日までに突然死により行政解剖を受けられた方のうち、研究代表者及び研究分担者が担当した行政解剖に付された方から、心臓以外には病気がなく、致死性不整脈が発生してお亡くなりになったと推測される方、年間 10 例を対象に致します。

## 〔個人情報の取扱い〕

利用する情報からは、氏名、住所など、個人を直接特定できるような情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を特定できる情報等は利用しません。

〔研究協力の任意性と撤回の自由について〕

本研究へのご協力については、ご遺族の意思を尊重いたします。研究内容に関して不明な点がある場合や情報の利用に同意されない場合には、以下にご連絡ください。

〔問い合わせ先〕

早川 輝

東京都監察医務院

住所：〒112-0012

東京都文京区大塚 4-21-18

電話：03-3944-1481

群馬大学大学院医学系研究科法医学講座

住所：〒371-8511

群馬県前橋市昭和町 3-39-22

電話：027-220-8033